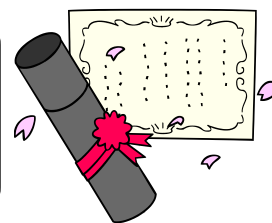


# 生駒北小中学校だより

令和8年3月号

文責 校長 小竹仙哉



【 学校教育目標 】 自ら考え行動し、未来を切り開く児童・生徒の育成

いよいよ3月になり、『別れ(卒業)』の時期を迎えました。中学3年生と小学6年生の教室には、卒業式までのカウントダウンが表示してあります。ともに学び協力し合ったなかまとの別れの時が、近づいてきています。5日に『小学6年生を送る会』が行われました。1～5年生の下級生たちが6年生の



卒業生たちに向けて、精一杯感謝の気持ちを伝えて、6年生からはお礼の気持ちとこれからがんばってねとバトンが渡されました。

また10日には『中学3年生を送る会』が生徒会役員を中心として企画されています。この1年間、生駒北小中学校を立派に支え学校生活をリードしてくれた中学3年生の卒業生のみなさんに感謝して、卒業をお祝いしたいと思います。



## 子どもたちが地域の子ども『高山っ子』となるために、あいさつでつなぐ絆

私が生駒北小中学校の校長として、力を入れてきたことにあいさつがあります。毎日普通に交わしているあいさつも十分できなかったコロナ禍を経験して、今では学校内外で元気なあいさつが交わされるようになりました。あいさつがきっかけとなって、人とのつながりが生まれると思っています。

私は、子どもたちの心に郷土愛を育みたいという願いを持っています。そこで登下校の見守りボランティアさんや地域の方々に、登校時には「おはようございます」の後に「行ってらっしゃい」・下校時には「こんにちは」の後に「おかえり」というあいさつを付け加えていただくようお願いしました。今では朝の登校時に、見守りボランティアさんの「おはようございます。行ってらっしゃい。」と手を振りながらのあいさつに、「おはようございます。行ってきます。」と手を振り返す子どもの姿が見られます。夕方前に地域の方の「おかえりなさい。」に、子どもが「ただいま。」とあいさつを返してくれたと聞くようになってきました。あいさつによって地域の方々に本校の子どもたちが『地域の子ども(高山っ子)』という意識が生まれ、子どもたちには『いつも地域の人たちが自分たちを見守ってくれている』と安心できる関係(絆)でつながることを願いながら、私も毎朝校門で登校してくる子どもたちにあいさつをしています。

最後になりましたが、本校の教育活動につきまして、保護者の皆様、地域の皆様、関係団体・機関の皆様にご支援とご協力いただきましたことに、心より感謝申し上げます。